

会議要旨

会 議 名	甲州市行政改革推進委員会（第 5 回）
議 題	甲州市行政改革推進委員会 第二次行政改革大綱案・パブリックコメント・実施計画・答申 について
開会日時	平成 23 年 2 月 21 日（月）午後 3 時～5 時 15 分
開会場所	甲州市役所本庁 第二会議室
出席者名	◎熊谷委員、塩野副委員長、雨宮委員、井上委員、佐藤委員、 中村委員、藤原委員、水上委員、矢崎委員、平野委員 事務局 萩原課長、佐々木
議 事	

【第 5 回会議】

- 事務局 （資料 1 に基づき大綱の修正点を説明）
- 会長 章ごとに中身を検討していきたい。まず、I 行政改革の必要性でご意見があればお願いしたい。
- 委員 市長のマニフェストとこの行政改革大綱で内容が合致しているのか。
- 事務局 行政改革推進本部の本部長は市長であり、基本的には内容は合致している。後で提示する。
- 委員 年齢構成が分かるもの、人口ピラミットを記載するといった意見があったがいかがか。
- 事務局 資料編に記載したい。
- 委員 人口の減少の原因、理由は把握できたのか。また、担当課はどこか。
- 事務局 直接担当は市民生活課である。基本的な内容は担当課で把握しているが、総括的な分析になると政策秘書課が担当となるので分析・研究を重ねていきたい。全国的にも人口の減少は大きな問題であり、甲州市でも同様である。
- 委員 総合計画などで人口推計を行っていると思うが、それは、政策秘書課が担当したのか。
- 事務局 そうである。
- 委員 できれば、人口ピラミットを入れてもらいたい。また、自分と同じように都会から甲州市に転入した人もいる。こういうデータもあると良い。
- 委員 転入増など理由別のデータもあると良い。
- 会長 資料の完成版が必要なわけではなく、資料を使って大綱の中身を検討したいということである。データがあるものを記載するというところでどうか。
- 事務局 市民生活課のデータを活用して 5 歳刻みの人口ピラミットを作ってみたい。次回資料を送付する時に同封したい。
- 会長 市の明るい方向性を示す資料があれば、それもお願いしたい。
- 委員 用語解説は修正がしてあるか。
- 事務局 見やすく修正している。

- 委員 職員全体が危機意識を持ちとあるが、職員だけでなく市民も一緒に取り組むことが必要だということを書いたほうがよい。
- 事務局 「市民との協働のもと」と付け加えるようにしたい。
- 会長 4 ページの市税の部分であるが、「景気の低迷」とあるが、後からどういう理由で景気が低迷となったかが解るように「リーマンショックにより」などと明記したほうがよい。
- 事務局 大幅に減額を減少とその部分も変更したい。
- 会長 市長のマニフェストが手元に届いたが。一読願いたい。
- 委員 太陽光発電は市役所に設置されているのか。
- 事務局 新庁舎屋上に設置されている。
- 委員 高齢者福祉サービス、子育て支援の充実の部分のいいところをもっとアピールしても良いと思う。不登校の子供は甲州市では少ないと思う。子育てのしやすいまちということや、地域コミュニティが機能しており、高齢者をひとりにしないまちなど、すでに出来上がっているもの、今甲州市が実施しているものも書けばいいと思う。
- 事務局 甲州市では、民生委員や区長など、地区の方々が子どもやお年寄りに、きめ細かな配慮をしてくれている。
- 委員 都会で子育てがうまくいかない方が、転地療法ではないが、甲州市の自然の中にくるとうまくいくこともあるのではないかと。
- 事務局 甲州市は保健師がいてねいに子供に接している。そうした活動をアピールする必要性も感じている。
- 会長 先ほどの意見と共通しているが、よいところを掘り起こしてアピールしていくことも必要だと思う。行政改革というと、どうしても切り捨てるほうが出てくるが、甲州市の良い点を出していくのがいいのではないかとといったご意見である。ほかに何かあるか。良い点としてあげるものがあれば事務局で出してもらいたい。
- 委員 長く住んでいると、良いところが当たり前になってしまう。地元の人が甲州市に自信を持つことも大切である。
- 委員 高齢者福祉については、都会と甲州市ではサービスの違いがあってもよいと思う。たとえば、畑を使って、大地に根ざした農作業を行いながら高齢者が生活していくこともいい。地域において何があるかを考えながら活用していくのがよいと思う。病院に入って切り離されるのではなく、生きがいを持つことである。
- 委員 高齢者は、人とのつながりや、用事があるとはりあいになる。
- 委員 四国の小さい村で、葉っぱを販売して高齢者が元気なところがある。生きがいが必要である。きっかけが見つかればいいが、それが難しい。
- 会長 徳島の上勝町のことだと思うが、農協がネットワークをつくって、高齢者がパソコンを使い、いきいきと仕事をしている。道路の補修も収入があるので、自ら修繕してしまう。寝たきりの方も少なく、孫など家族も頻りに訪ねてくる。
- 委員 民生委員の方がもう少し、頻りに訪ねたり、地域で高齢者が集える場所があ

るといいと思う。

- 会長 長野県の泰阜村だが、診療所があるが、基本的に入院はさせない。訪問介護や医師の往診により自宅で療養する。甲州市も都会にはまねできないことがあると思う。いろいろな可能性が甲州市にはあるのではないか。
- 委員 甲州市の一ノ瀬高橋では、牧丘病院の医師や大藤診療所の医師が往診していて、まさに今の長野県の村と同じ状態である。一ノ瀬高橋は春駒だけでなくこういう面もある。
- 委員 「民間活力の活用」とあるが、民間が力を発揮できるように後押しする、「力が発揮できる体制とする」としたほうが、甲州市ならではの方策となるのではないか。「活用します。」では、業者は押さえつけられる部分があり、力が発揮できない。
- 会長 指定管理者となるとどうしても金銭の話になってきてしまう傾向がある。
- 事務局 行政は、民間が蓄えたノウハウを発揮できるよう支援していくことが理想である。
- 委員 いろいろアイデアがでてきているが、これらを実現するまでの仕組みはどうなっているのか。市のどこの窓口で話をすれば、実現に結びつくのか。
- 委員 市に基本的なこと意外は民間にまかせてもらうなどと巾をもたせてもらうと、民間側では、現在よりより良いと思うことに取り組みやすい。現在は民間が自前で実施していることもある。
- 委員 たとえば、市に勝沼の空いている資産を使ってカフェをしたらどうかと提案したい場合、どうやって実現につなげていくのか。どこの市町村でもそうだと思うが、窓口と仕組みがわかりにくい。
- 委員 現在、協働推進室で協働の指針を作成しているが、市民と行政が対等な立場で意見を出し合って、様々な事業を市がバックアップしていこうとしている。
- 委員 周知してほしい。
- 事務局 25 ページに記載してあるが、市民生活課で市と市民、団体との橋渡しをする支援センターの設置を検討している。
- 委員 市民から出された案を市がどう生かしていくかが問題だろう。
- 事務局 頂戴した意見をすべて大綱に載せていくことはできない。ここでいただいたご意見や後で審議していただくパブリックコメントの中で、大綱に生かすことができる部分は取り入れていきたい。
- 会長 すべての意見を大綱に取り入れるのは無理なので、理念として生かされればよいと思う。
- 委員 20 ページの「民間活力の活用」は「民間活力が発揮できる云々」とし、市民との協働に重点をおくようにしたらいかかがか。
- 委員 行政改革大綱なので、行政の立場に重きを置くことがらが並ぶのは仕方がない。指定管理にしても、直接効率的に行政ができれば、民間はいらない。しかし、今はそういう訳にはいかない。
- 委員 「民間のノウハウが十分発揮できるよう考慮していく。」などがあってもよいと思う。

- 委員 基本理念に協働とあるが。
- 会長 甲州市らしさということで、④として「民間活力が発揮されやすいような体制を行政は支援していく。」といれておけば甲州市らしさが出てくる感じがする。
- 委員 13 ページの最終目標だが、恒久的な目標ということか。夢と希望と足されたが。
- 事務局 推進期間が4年ということもあるので、その間の最終目標ということである。
- 委員 明るい部分があっているのではないか。
- 会長 全体の議論になっているが、さらにいかがか。
- 委員 全体の中で、高齢者福祉、子育て支援の部分がはっきりと大綱にでてきていない。この辺はいかがか。
- 事務局 特別会計等の経営健全化の部分で介護保険と訪問看護の事業の内容だけとなっているが、現在、高齢者と子育ての充実については重要課題になっている。実施計画には盛り込んであるが、4の市民との連携、協働によるまちづくりの(1)市民と行政の協働に基づく行政サービスの充実の中に項目を書き込みたい。
- 委員 実施計画には数値等が記載されるのか。
- 事務局 実施計画については、第一次とは様式を変え、大綱のプログラム体系と各課で実施する具体的な項目等のみを記載し、現状よりも簡約な形式にしたい。計画や課題、実際行った取り組み内容等、詳細は事務事業評価シートに記載したいと考えている。
- 委員 先日実施した業務仕分けを活用していく、事務事業評価シートを使用していくということは、大綱に書かないのか。具体性が各項目にない。この項目で何に取り組んでいくか細かいことがわからない。
- 事務局 大綱にすべて細かい実施項目をのせることはできない。それで実施計画が必要となってくる。
- 委員 行政側としては、どうにかしたいという点を大綱に書き込んでいる。内容を大綱にどこまで入れ込むかは難しいところである。
- 委員 削減するとか行政改革はどうしても暗くなってしまう。それを良い方にもっていきたい。前向きにしたい。見る人に意欲がでるようなものがよいと思うのだが。
- 事務局 市の政策を網羅した計画としては、総合計画がある。
- 委員 行政が改革改善していきたいと考えている項目の改革に取り組むことが行政改革であろう。
- 委員 甲州市には、観光大使はいるのか。
- 事務局 市制施行記念式典には任命できるよう、現在検討している。
- 委員 費用が掛かるかもしれないが。
- 会長 さきほどの話から、資料編で甲州市における明るい資源、有望な資源について因果関係も含めてまとめて記載するのはいかがか。厳しい状況だからこそ、甲州市の良さをどう活用していくか。さきほどの長野の村も費用を節約することからはじめた訳ではなく、いかに高齢者に充実した人生を送ってもらうかが最初にあっ

た。どういう医療が高齢者にとって良いのかを考えた結果、医療費も抑えられたということである。

- 委員 研究会などではなく、政策立案が課を超えてできるような仕組みが必要なのではないか。
- 事務局 個人的には、市民協働推進室を政策秘書課と一緒にするなど、課を併せ大きくし、課題に幅広く対応していくことがこれから必要になっていくと感じている。
- 委員 市長に本気で人口増に取り組んでいただきたい。
- 委員 23 ページ「従来の縦割り型組織にとらわれず」とあるが、事務事業だけということのないようにしてもらいたい。
- 委員 市民が市役所のどの課に話しても、たらい回しにすることなく担当課へ伝えてもらうなどの配慮をお願いしたい。
- 委員 市長のマニフェストの中に宮光園があるが、ワイン関係者にも寄附を募って一大スポットとしていったらどうか。市だけではなく、企業の力や知恵も借り、地域の方の思いも集約して協働すれば、素晴らしい拠点となるのではないか。企業の寄附をもっと考えてもよいのではないか。
- 事務局 参考にさせていただきたい。
- 会長 23 ページ「従来の縦割り型組織にとらわれず」の前に、皆さんの意見から市民との協働も取り入れてもらい、生活者の視点に立って、または市民の視点に立ってと言葉をいれるのはいかがか。
- 事務局 取り入れさせていただく。
- 事務局 (パブリックコメントの説明。)
- 委員 その他の内容になってしまうが、合併特例債を使って、第一次の実施計画にもある学校給食センターの整備に、ぜひ取り組んでいただきたいと思う。
- 事務局 合併特例債の期限は、合併後 10 年間と限られている。期限を見据えて、学校の耐震化、市民文化会館の改修等とともに給食施設の整備にも取り組んでいきたい。
- 会長 パブリックコメントでの意見も踏まえて、大綱案を書き直すということになるのか。
- 事務局 そうである。委員からいただいた意見と、パブリックコメントでよせられた意見の中で、大綱に生かすことができる部分を会長と協議しながら取りまとめ、修正したい。
- 事務局 (実施計画についての説明、続けて答申の方法について説明)
- 会長 日程的に厳しいが、先に次回委員会の日程を決めたい。3 月 18 日午後 2 時からでどうか。当日市長が外出している場合は、後日会長、副会長が答申をお渡しするということはいかがか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 答申の仕方だが、大綱を添付するなら①の様式でいかがか。
- 委員 (異議なし)

- | | |
|--|----------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">○ 会長 事務局と協議し、修正した大綱を委員に送付する。○ 事務局 (会長が講師となる研修会のお知らせをする。)○ 副会長 閉会あいさつ | |
| 決定事項等 | ・次回会議日程は3月18日(金)午後2時からとする。 |